

はにい

使命

平成25年10月9日

中2、道徳の時間。資料の話を読んで、4人一組のグループで語り合っています。

「この学生って、正義感がありすぎたんじゃない？」

「許せない！っていう気持ちが強かったんだ。」

「いや、そういう気持ちより、体が勝手に動いてしまったんじゃないかなあ。」

「あ、僕もそう思う。もっと冷静になって追いながら110番通報したりすればよかったのに。」

「だから、そういうこと考えるより先に体が動いちゃったんだよ。・・・とっさの使命感かな。」

教師がこの4人の対話をパソコンで記録しています。



さて放課後、その授業記録も使いながら、研究協議が行なわれました。

この協議の様子が、先ほどの授業とそっくりです。模造紙に書き込みながら4人一組で対話します。この研究協議は、教師自らが言語活動を体験をする場にもなっているのです。



協議の振り返りは、研究主任が『研究通信』に書いて配付します。そこには、研究主任が校内で参観した授業のことや、他校の研究会の報告、また図書で紹介などが掲載されています。

日々、子どもの学びを支援している教師は、自らも学びの実践者なのでした。

